

## 設定資料

「 HyperDeck Studio 12G 」

## 内容

1. 構成.....	3
2. HyperDeck を 4 台の同時制御する時の接続 (LAN&SIO 制御).....	4
3. HyperDeck を 6 台の同時制御する時の接続 (LAN&SIO 制御).....	5
4. 簡易操作説明.....	6
5. 設定.....	8
5.1 HyperDeck の設定.....	8
5.2 HypeDeck4台同時制御時の MDC コントローラの設定例.....	8
5.3 HyperDeck6 台同時制御時の設定例.....	8
6. イベントクリップ画面.....	9
6.1 操作と特徴.....	9
6.2 動作詳細.....	10
7. 詳細設定.....	12
7.1 Blank ボタンの設定.....	12
7.2 F-PLAY ボタンの設定.....	12
7.3 STOP 操作.....	12
7.4 60Frame TC について.....	12
7.5 Diff 表示.....	13
7.6 CUE 点の Bank エリア.....	13
7.7 SFT+PLAY 操作.....	14
7.8 Port Select ボタンの操作.....	14
8. 使用上の注意.....	15

## 1. 構成

HyperDeck Studio 12G を制御する時の使用方法は下記の方法が可能です。

	制御方法	動作概要
1	LAN 制御	<ul style="list-style-type: none"><li>・4台までの制御が可能です。</li><li>・通常制御が可能です。</li><li>・ファイルの選択が可能です。</li><li>・NEXT/PREV 操作が可能です。</li></ul> (注意)複数台の同時制御の誤差が発生します。
2	SIO 制御	<ul style="list-style-type: none"><li>・4台までの制御が可能です。</li><li>・通常制御が可能です。</li></ul> VTR と同等の制御となります。 (注意)ファイルの選択/NEXT/PREV/スロット選択は行えません
3	LAN&SIO 制御	<ul style="list-style-type: none"><li>・4台までの制御が可能です。</li><li>・複数台の同時制御が可能です。(誤差 1Frame)</li><li>・ファイルの選択が可能です。</li><li>・NEXT/PREV 操作が可能です。</li></ul> (注意)購入時にオプションライセンスが必要です。
4	MCI-70 制御	<ul style="list-style-type: none"><li>・4台以上、最大で16台までの制御が可能です。</li><li>・複数台の同時制御が可能です。(誤差 1Frame)</li><li>・ファイルの選択が可能です。</li><li>・NEXT/PREV 操作が可能です。</li></ul> (注意)購入時にMCI-70が必要です。

◆MDC-70/MDC-70T/MDC-74 のソフトウェアバージョン S0100-7E-02 では  
イベント用の画面で簡易的な LOOP 再生等が出来る様になりました。

## 2. HyperDeck を 4 台の同時制御する時の接続(LAN&SIO 制御)

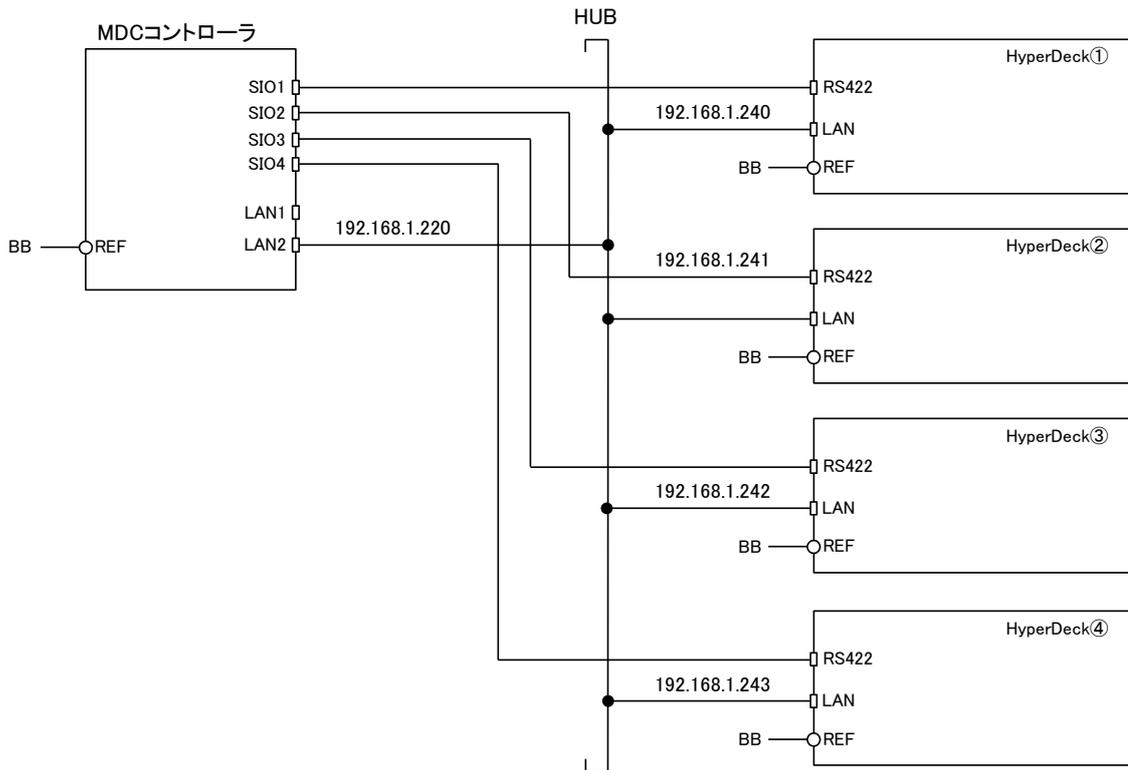
HyperDeckを4台接続した時の接続例と操作画面を記載します。  
 コントローラ MDC-70/MDC-74/MDC-70T のご使用が可能です。



コントローラ画面



イベントクリップ画面



### 3. HyperDeck を 6 台の同時制御する時の接続(LAN&SIO 制御)

HyperDeckを6台接続する時は別途システムインターフェース(MCI-70)を使用します。接続例と操作画面を記載します。

コントローラ MDC-70/MDC-74/MDC-70T のご使用が可能です。



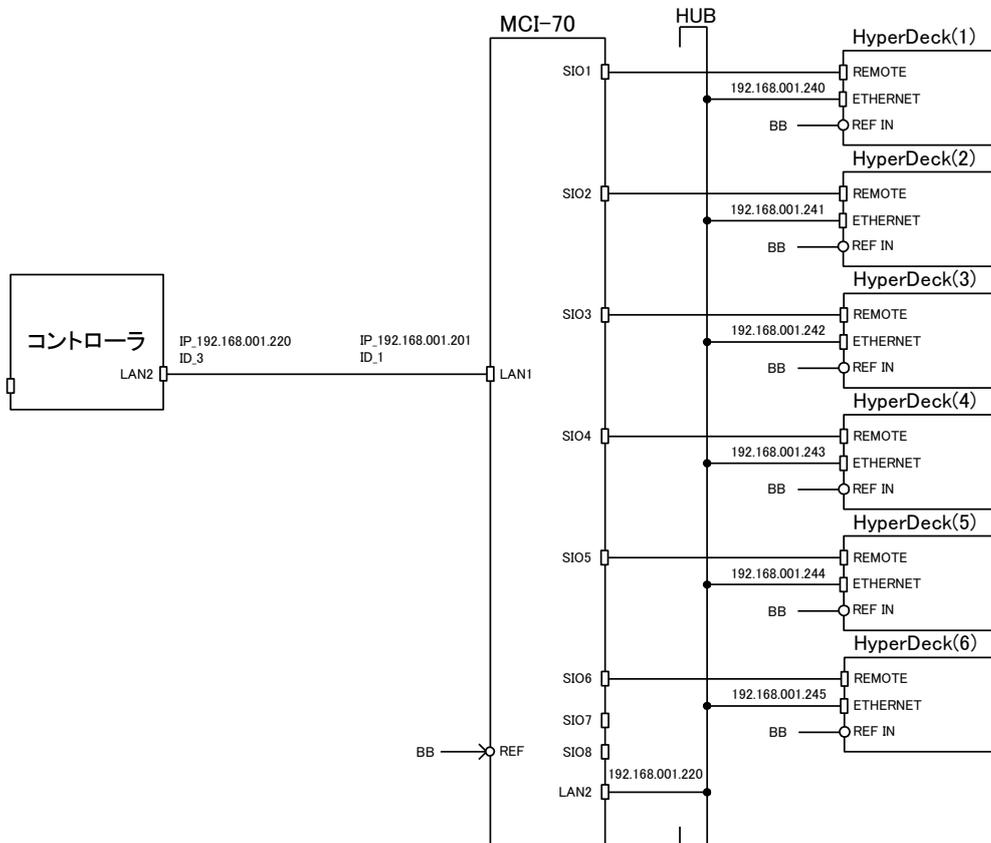
コントローラ画面



イベントクリップ画面



MCI-70



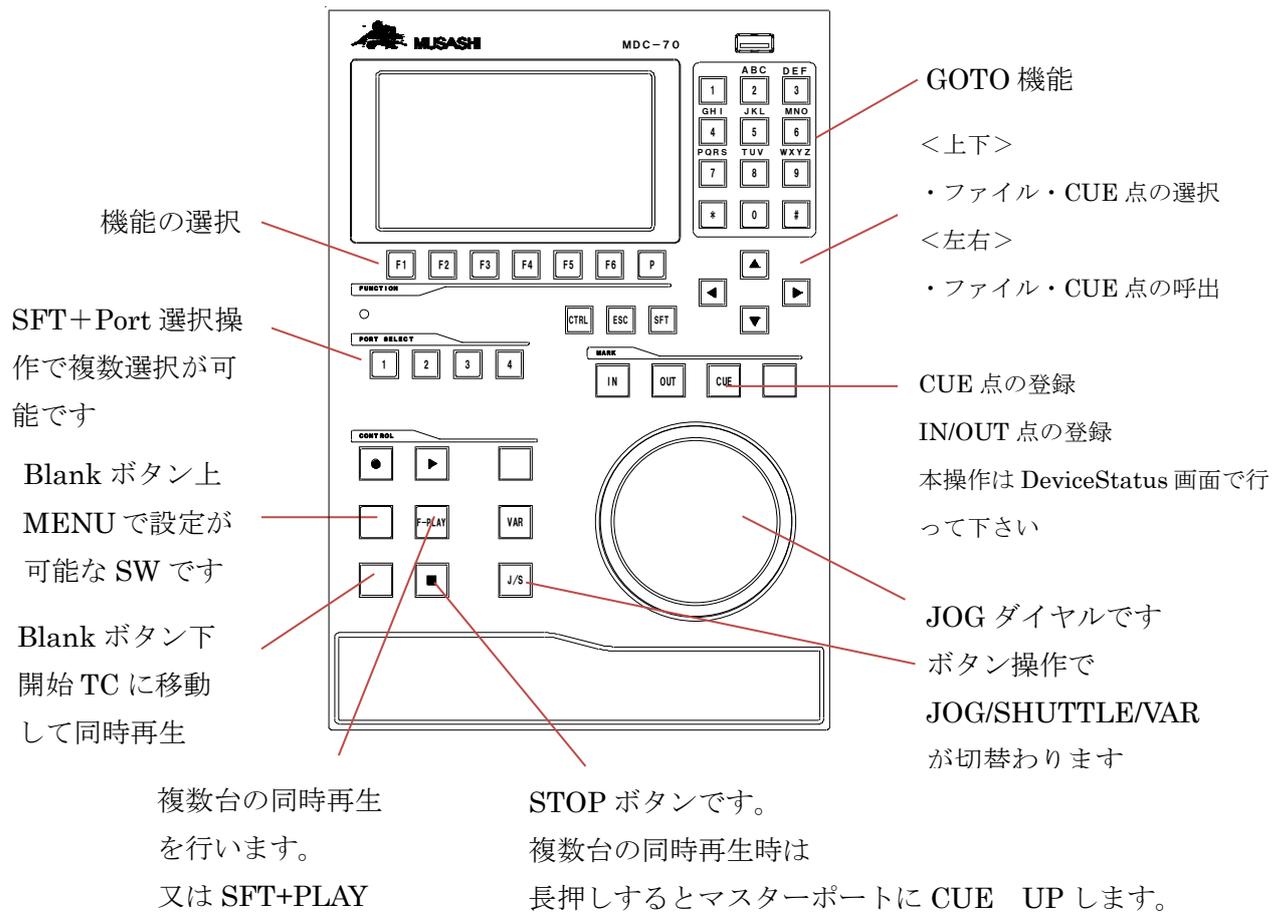
#### 4. 簡易操作説明

MDC-70/MDC-74 の操作ついて記載します。

DeviceStatus画面では SFT+ PORT SELECT ボタンで複数 CH を選択可能です。

また Sync 画面では複数台の制御のON/OFFが可能です。

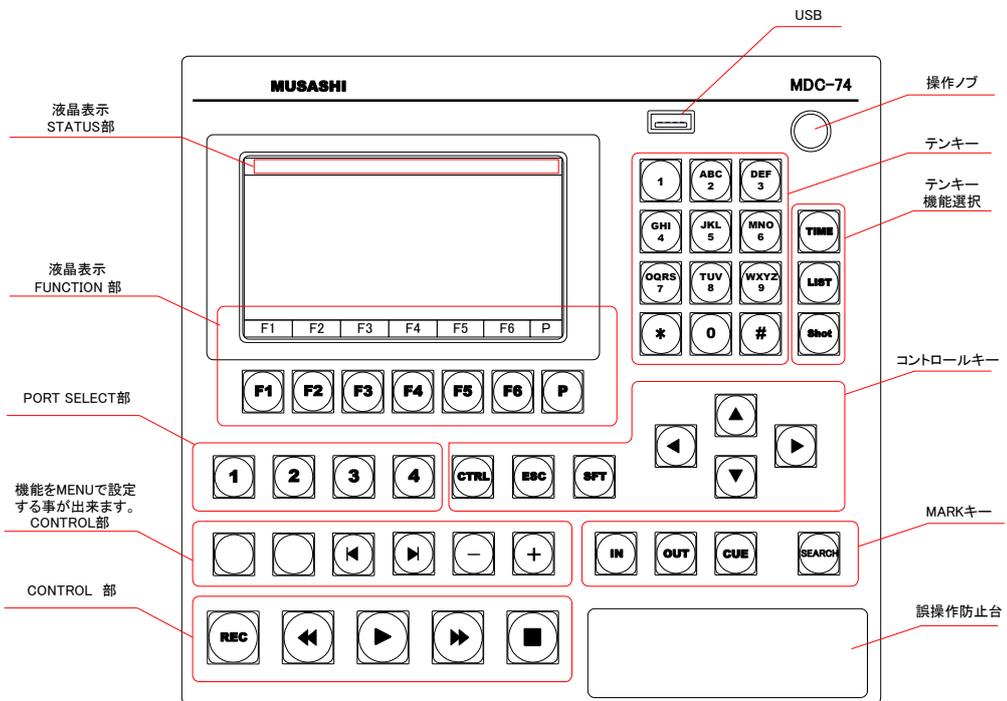
##### 【MDC-70】



複数台の同時再生  
を行います。  
又は SFT+PLAY

STOP ボタンです。  
複数台の同時再生時は  
長押しするとマスターポートに CUE UP します。

【MDC-74】



## **5. 設定**

### **5.1 HyperDeck の設定**

システム工事と合わせて設定を提案できます。  
詳細は弊社営業にお問い合わせください。

### **5.2 HypeDeck4台同時制御時の MDC コントローラの設定例**

システム工事と合わせて設定を提案できます。  
詳細は弊社営業にお問い合わせください。

### **5.3 HyperDeck6 台同時制御時の設定例**

システム工事と合わせて設定を提案できます。  
詳細は弊社営業にお問い合わせください。

## 6. イベントクリップ画面

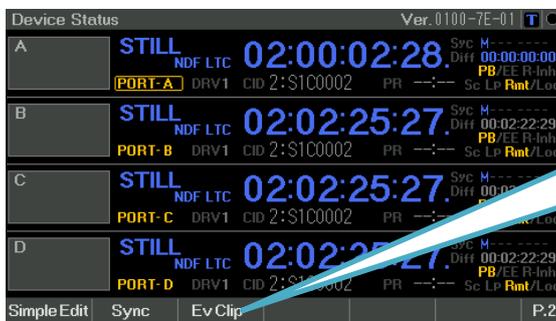
### 6.1 操作と特徴

Ver S0100-7E-01 より、イベント向けに新たな画面(イベントクリップ画面)を追加しました。  
EvClip 画面は同時制御が可能な ClipList 画面です。IN 点・OUT 点を登録して LOOP 再生を行う事が可能です。

#### 【特徴】

- ・イベントクリップ画面では8個の IN/OUT 点の登録が可能です。
- ・LOOP 再生は HyperDeck の LOOP 再生機能と MDC 制御の LOOP 再生機能を選択して使用する事が可能です。

#### 【イベントクリップ画面への切替操作】



イベントクリップ画面は  
P ボタンで P2 ページを選択し  
F3 ボタン (EvClip) で切り替え

#### 【イベントクリップ画面】

イベントクリップ画面では上下▲ボタンでイベント登録位置を選択してINボタンとOUTボタンで登録を行います角イベントはファイル番号+TCで登録しているので、違うファイルでも登録しておく事が可能です。



## 6.2 動作詳細

### 【ファイルの管理】

マテリアル画面でファイル名は出ておりますが、制御上はクリップの ID 番号で制御をしています。よって、ファイル名を変更するとファイルの順番が変わってしまう事があるので注意して下さい。NEXT/PREV 等の制御を行うので SSD 内は同一のファイル数でご使用下さい。

### 【同時再生の開始点と LOOP 動作】

イベントクリップ画面のクリップ選択カーソル行の IN 点登録状態により動作が動作か異なります。<---:---:---:---表示>の行の選択時は Hyper Deck の LOOP 機能を使用した LOOP 動作となります。<IN/OUT 点表示>の行の選択時は MDC-70 の LOOP 機能を使用した LOOP 動作となります。以下 LOOP 動作時の操作と注意点を記載します。

### 【<---:---:---:---表示>行選択時の動作】

同時再生の開始点は、SSD 内の先頭ファイルの頭。又は現ファイルの頭を MENU で切り替えて使用する事が出来ます。LOOP 動作は、HyperDeck 側の機能で動作します。

(HyperDeck の機能でシームレス LOOP)

#### ◆SSD 内の先頭ファイルの頭から再生で使用する時の設定(出荷時設定)

29B00	EvClp:JmpTopSel	AllFile	同時再生開始時 Jump 先選択(イベントクリップ画面機能用) AllFile=先頭ファイルの頭から再生します
27812	\$ContKeyAsn-2.	10)Top	ブランクキー2の動作指定

#### ◆SSD 内の現在選択中ファイルの頭から再生で使用する時の設定

29B00	EvClp:JmpTopSel	CurFile	同時再生開始時 Jump 先選択(イベントクリップ画面機能用) CurFile=現ファイルの頭から再生します
27812	\$ContKeyAsn-2.	27)CurTop	ブランクキー2の動作指定

### 【操作時の注意】Hyper Deck の LOOP 機能

- a) Hyper Deck は、再生中に PLAY コマンドを送信すると LOOP 再生状態になります。(送信毎にトグルで LOOP の ON/OFF)MDC 側で同時再生開始以後、PLAY コマンドの再送信により、Hyper Deck の LOOP 機能を ON/OFF します。HyperDeck 側の制御によるシームレスな LOOP 再生となるため、下記の運用をお願いします。

◆それぞれの SSD 内のファイルは、同尺のファイルをお願いします。

◆ファイルは同一の TC をお願いします。

- b) 同時再生開始後は2秒以上の間隔を空けてから操作して下さい。

#### 【<IN/OUT 点表示>行選択時の動作】

再生動作は MDC 側の制御で IN 点と OUT 点の管理を行いながら再生します。LOOP 動作は MDC 側の CUEUP と PLAY 制御で行うので頭出し時は映像が一時停止します。STOP 中は再生しますが、同時再生制御は行いません。そのまま素材の終端までの再生となります。

#### 【操作時の注意】MDC-70 の LOOP 機能

- a) MDC 側での CUEUP と PLAY コマンド制御による LOOP 動作のため、シームレスな LOOP 再生ではありません。頭出しや同時開始の制御にかかる時間が一定ではないため、LOOP1回あたりの実時間は若干変動しますのでご注意ください。
- b) イベントクリップ画面では、SSD 内の2つ目以降の(HyperDeck の)クリップでの IN/OUT 登録も可能です。
  - ◆同時再生するファイルは、同じ(HyperDeck の)クリップ番号同士でとなります。(2番目同士、3番目同士...)
  - ◆ファイルは同一の TC をお願いします。
- c) イベントクリップ画面のイベントクリップは8個まで登録出来ます。選択カーソル行位置は電源断でも記憶しているので次回起動時も同じ同時再生が可能です。(外部リモコン使用時など)

## 7. 詳細設定

### 7.1 Blank ボタンの設定

デバイスコントロール キーの白キーを下記の設定にて設定すると  
HyperDeck 内の素材の NEXT と PREV 操作が可能です。

関連メニュー 白キー(上)		
項目番号	項目名	内容
27812	\$ContKeyAsn-2.	---
27813	\$ContKeyAsn-3.	---

※MDC-70 使用時

### 7.2 F-PLAY ボタンの設定

F-PLAY ボタンをマスターポートに合わせてから再生する事が可能です。

関連メニュー		
項目番号	項目名	内容
29102	DvSts:FplayCont	DeviceDtatus 画面の F-PLAY 操作時のモード指定 1) DelayPlay 追っかけ再生 ☆ 2) SyncPlay 簡易同期再生

### 7.3 STOP 操作

STOP ボタンを長押しするとマスターポートの TC に CUE UP する事が可能です。

関連メニュー 出荷時に MasterCueUp に設定してあります。		
項目番号	項目名	内容
28205	StopSwLgOprMod	パラ選択時に STOP ボタンを長押しするとマスターポ ートに CUEUP します 1) <u>Disable</u> ☆2) MasterCueup

### 7.4 60Frame TC について

MENU 設定により60FrameTCを確認する事が可能です。

関連メニュー 出荷時は Normal 表示です。 ※SIO毎に設定して下さい。		
項目番号	項目名	内容
30208	ExpfTcSel	60Frame 素材の TC 表示設定 1)Normal ☆ 2)BlkMgc60

60P 素材使用時の TCは 60Frame です。弊社コントローラでは RS422 制御時との互換を確保する為に 30Frame に換算して表示しております。よって表示TCは実際のTC÷2で表示します。CUE点の登録時も同様のTCで登録します。

CUE点の呼出時は X2 倍のTCに CUE UP をする事により登録した映像の呼出を可能にしています。同様にGOTO機能使用時もx2倍してCUE UP を行いますので、30Frame でタイムコード入力を行って下さい。

またStataus表示画面では Frame の桁にドットを表示する事により60Frame の偶数Frameと奇数 Frame を表現する事も可能です。



- ・ドット点灯時 奇数 Frame
- ・ドット消灯時 偶数 Frame

## 7.5 Diff 表示

複数ポートを同時に再生する時に、再生 TC の差を確認する事が可能です。

点滅ポートの TC に対する相対位置(Diff) が表示されます。



関連メニュー Diff 表示の指定		
項目番号	項目名	内容
29101	DvSts:LwrTcTyp	☆2)Diff(MasterDev)

## 7.6 CUE 点の Bank エリア

同一 TC の素材で使用するとき CUE 点をマスターポートに統一する事が可能です。

関連メニュー		
項目番号	項目名	内容
27601	Port1-ListBank	☆Bank-A
27602	Port2-ListBank	☆Bank-A
27603	Port3-ListBank	☆Bank-A
27604	Port4-ListBank	☆Bank-A

## 7.7 SFT+PLAY 操作

同期再生は F-PLAY ボタン又は SFT+PLAY で行う事が可能です。

関連メニュー		
項目番号	項目名	内容
28209	Sft+PlayMod	SFT+PLAY 操作モード 1)DelayPlay : 追っかけ再生 ☆2)SyncPlay : 簡易同期 Play

## 7.8 Port Select ボタンの操作

PortSelect ボタンの操作方法を変更可能です。

関連メニュー		
項目番号	項目名	内容
27400	PortSelectMode	ポートの選択モードを指定します。 1)Normal : ポート選択モード ☆2)OldParaSel : ポート ON/OFF モード

## 8. 使用上の注意

本機能を使用した時の注意事項を記載します。

### 8.1 全般

制御は TC を基準に行っております。

各素材の TC は同一の TC をお願いします。

### 8.2 JOG/SHUTTLE/VAR 動作

JOG/SHUTTLE/VAR 操作を行うとデバイスが追従しない事があります。

TC のズレが発生した時は STOP ボタンを長押ししてマスターポートに CUE UP して下さい。

### 8.3 ファイルの管理

マテリアル画面でファイル名は出ておりますが、制御上はファイルのID番号で制御しています。よってPC等のファイル名を変更するとファイルの順番が変わってしまう事があるので注意して下さい。

### 8.4 収録制御

同時収録を行う事は可能ですが、不定期的なタイミングで 1Frame 収録の欠落が発生する事があるのでご注意下さい。

ご相談・ご質問及び、修理に関しましては、下記までお問い合わせ下さい。

---

## **武蔵株式会社**

**TEL 03-5982-4391    FAX 03-5982-4784**

東京都新宿区下落合 3-21-1 NK フジビル 3F 〒161-0033

営業時間 9:00～18:00 月曜～金曜(休祝日を除く)

URL: <http://www.musashi-kk.co.jp/>

---